

# 安来市スポーツ推進計画

平成26年9月

安 来 市

## はじめに

近年における社会環境及び生活環境の変化は、人々の生活に変化をもたらし、身体を動かす機会を減少させ、さまざまなストレスを増大させる原因にもなっています。

また、少子高齢化、過疎化等による社会活力の低下が、社会や経済にも大きく影響を及ぼし、将来への不安要因となっています。

このような社会状況の中、国においては、平成23年8月に「スポーツ基本法」を制定し、スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を目指しています。

本市では、スポーツが心身両面にわたる健康の保持増進に大きく貢献することを踏まえ、スポーツによる健康づくりを根幹に、市のスポーツ振興の基本的な考え方と今後の具体的な取り組みを体系的にとりまとめた「安来市スポーツ推進計画」を策定しました。

この計画では、市民の皆様が、それぞれのライフステージに応じて、スポーツ活動（する、みる、支える）への参加とスポーツに親しむことができる環境づくりを進めることにより、健康で明るく、いきいきとした生活を送ることができる「ひとが輝く活力発揮のまちづくり」を目指します。

終わりに、本計画を策定するにあたり、ご尽力をいただきました安来市スポーツ推進審議会の委員の皆様方をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました関係者、関係団体及び市民の皆様にご心からお礼を申し上げますとともに、今後とも本市のスポーツの推進につきましてご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

平成26年（2014年）9月

安来市長 近藤宏樹

# 目次

## 第1章 安来市スポーツ推進計画の基本的事項

1	計画策定の趣旨	1
2	基本目標	2～3
3	スポーツ推進計画の位置づけ	4
4	計画期間	5
5	計画の推進及び進行管理	5
6	安来市スポーツ推進計画の体系	6
7	本計画における「スポーツ」の範囲	7
8	本計画におけるライフステージの年齢設定について	7

## 第2章 スポーツ推進の現状と課題及び具体的施策の展開

1	学校と地域における子どものスポーツ、運動の機会の充実	
	(1) 幼児期（概ね3歳～5歳）からの運動の推進	8
	(2) 地域における小中学生、高校生のスポーツ、運動の推進	9～10
	(3) 学校における子どもの体力、運動能力向上の取り組み	10～12
	(4) 学校体育活動等の充実	12～13
	(5) 運動部活動の活性化の取り組み	13～14
2	ライフステージに応じたスポーツ、運動の機会の充実	
	(1) 青年期・壮年期（概ね19歳～35歳）のスポーツ、運動の推進	15～16
	(2) 壮年期後期（概ね36歳～64歳）のスポーツ、運動の推進	16～17
	(3) 高齢期（概ね65歳～）のスポーツ、運動の推進	18～19
	(4) 地域の団体等と連携した体力及び健康の向上の取り組み	19～21
3	夢を叶え感動を与える競技スポーツの推進	
	(1) 選手の育成強化支援	21～22
	(2) 競技スポーツ指導者の確保と育成	22～23
	(3) 競技スポーツの推進に向けた支援と体制づくり	23

4	安来市のスポーツ文化を支える環境整備の推進	
(1)	スポーツ関連団体の活動支援と連携強化	24～25
(2)	生涯スポーツ指導者等の養成と資質向上支援	25～26
(3)	障がい者スポーツ、運動参加の推進	26～27
(4)	スポーツ・レクリエーション施設の整備と充実	27～28
(5)	スポーツ、体力づくり情報の提供	29
(6)	安来市の地域特性を活かしたスポーツの推進	30
5	スポーツ活動による交流・連携の推進	
(1)	地域スポーツとトップスポーツとの連携、協働の推進	31
(2)	地域スポーツと高校、大学、企業等との連携、協働の推進	32
(3)	大規模スポーツイベント等の開催による交流促進	32～33

#### 参考資料

資料1	安来市スポーツ推進（振興）審議会委員名簿	34
資料2	用語説明	35～37
資料3	安来市スポーツ推進計画策定過程	38

# 第1章 安来市スポーツ推進計画の基本的事項

## 1, 計画策定の趣旨

### (1) 国の取り組み

昭和36年に制定されたスポーツ振興法は、我が国のスポーツの発展に大きく貢献してきました。

この\*スポーツ振興法の制定から50年が経過し、スポーツは広く国民に浸透し、スポーツを行う目的が多様化するとともに、地域におけるスポーツクラブの成長や、競技技術の向上、プロスポーツの発展、スポーツによる国際交流や貢献の活発化など、スポーツを巡る状況は大きく変化してきました。

そこで国は、平成23年8月に\*スポーツ基本法を施行し、これを受けて平成24年3月にスポーツ\*基本計画を策定しました。

このスポーツ基本法では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとして、スポーツは青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会活力の創造、我が国の国際的地位の向上等国民生活において多面にわたる役割を担うとされています。

### (2) 島根県の取り組み

島根県においては、平成25年2月に\*島根県スポーツ推進計画を策定し、この中で「スポーツの楽しみ・感動を通じて活力ある地域づくり」を計画の目標とし、県民それぞれの\*ライフステージに応じた生涯スポーツの推進、学校体育の充実、競技スポーツの推進、島根のスポーツ文化の推進などの施策を推進しています。

### (3) 安来市の取り組みとスポーツ推進計画の策定

安来市では、平成18年3月に策定した\*安来市総合計画に基づき「ひとが輝く活力発揮のまちづくり」を基本施策とし、住民誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じてスポーツに親しむことにより、一人ひとりが健康で豊かになる「生涯スポーツ社会」を目指して、スポーツ・レクリエーション関係の事業を実施してきました。

こうした状況の中、国のスポーツ基本計画を参考に、安来市のスポーツ・レクリエーション関係施策の基本的な考え方と取り組みの方針を示し、今後のスポーツ・レクリエーション関係施策の総合的な推進を図るため「安来市スポーツ推進計画」を策定しました。

## 2, 基本目標

市民がそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じてスポーツ・レクリエーションに親しむことにより「ひとが輝く活力発揮のまちづくり」を実現するため、次の4つを基本目標として取り組むこととします。

### ☆4つの基本目標

- ①子どもの健全な心身の育成
- ②市民の体力及び健康の向上
- ③スポーツ競技力の向上
- ④スポーツ文化の向上

#### (1) 基本目標

##### ①子どもの健全な心身の育成

子どものスポーツ機会の充実では、学校や地域等において、すべての子どもがスポーツ、運動を楽しむことができる環境の整備を図るとともに、学校体育活動等を通じて児童、生徒の体力の向上を図ります。

また、\*発達段階にある、さまざまな子どもたちの心身を育む場である学校や地域において、個々に応じた指導や環境づくりの面からスポーツ、運動の推進を図ります。

##### ②市民の体力及び健康の向上

市民がスポーツ、運動に親しむことは、体力の向上はもとより、ストレスの発散、\*生活習慣病の予防など心身両面にわたる健康の保持増進に大きな効果があります。

このことから、市民が各々のライフステージにおいて、自身の体力、目的に応じて、主体的にスポーツ、運動に親しむことにより、体力及び健康の向上を図ることができる体制の推進を図ります。

### ③スポーツ競技力の向上

競技スポーツは自らの能力と技術の限界に挑む活動であり、その優れた成果は、人々に夢と感動を与えスポーツへの関心を高めます。

また、競技スポーツ活動の活性化は、活力ある健全な社会の形成にも貢献することから、競技スポーツを行うための環境整備や指導者の育成支援等によりスポーツ競技力の向上を図ります。

### ④スポーツ文化の向上

スポーツは、人間の体を動かすという本源的な欲求に応えるとともに、爽快感、達成感、楽しさ、喜び等を与える人類の創造的な文化活動の一つです。

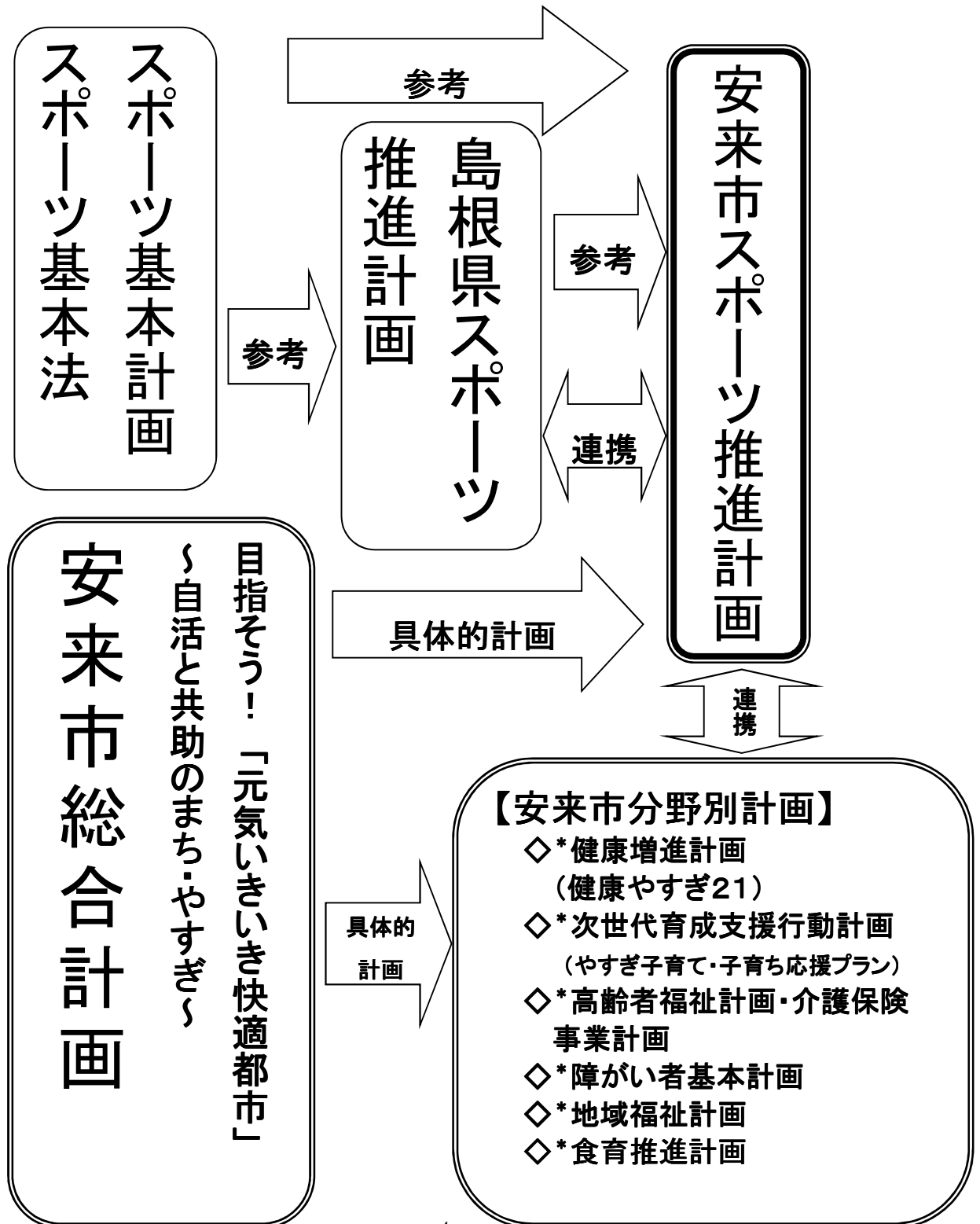
安来市においても、各世代にわたり親しみ育まれているスポーツ活動があります。それぞれのスポーツ活動が地域に根差した活動となるよう、スポーツ活動を支える団体や指導者の支援を進めるとともに、スポーツを楽しむ施設環境等の整備を進めます。

また、スポーツを通じての交流や組織間の連携、協働を推進し、活性化を図ることにより、安来市のスポーツ文化の向上を図ります。

### 3, 計画の位置づけ

安来市スポーツ推進計画は、安来市総合計画を上位計画とし、スポーツ・レクリエーション部門の具体的な推進を図る計画として策定し、他の安来市分野別計画とも連携を図ります。

また、この計画は国のスポーツ基本計画を参考とするとともに、島根県スポーツ推進計画とも連携を図っています。





#### 4, 計画の期間

平成26年度を初年度とし、平成28年度までの3か年計画とします。その後の計画期間は、国のスポーツ基本計画及び島根県のスポーツ推進計画の計画期間にあわせ、5年間とします。

#### 【他の計画との関連】

計画区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
国スポーツ基本計画				現計画（5年間）					次期計画5年間				
島根県スポーツ推進計画				現計画（5年間）					次期計画5年間				
安来市スポーツ推進計画						現計画（3年間）		次期計画5年間					
								国・県計画と市の総合計画を踏まえ改定					
安来市総合計画		後期基本計画（6年間）						次期基本計画					

#### 5, 計画の推進及び進行管理

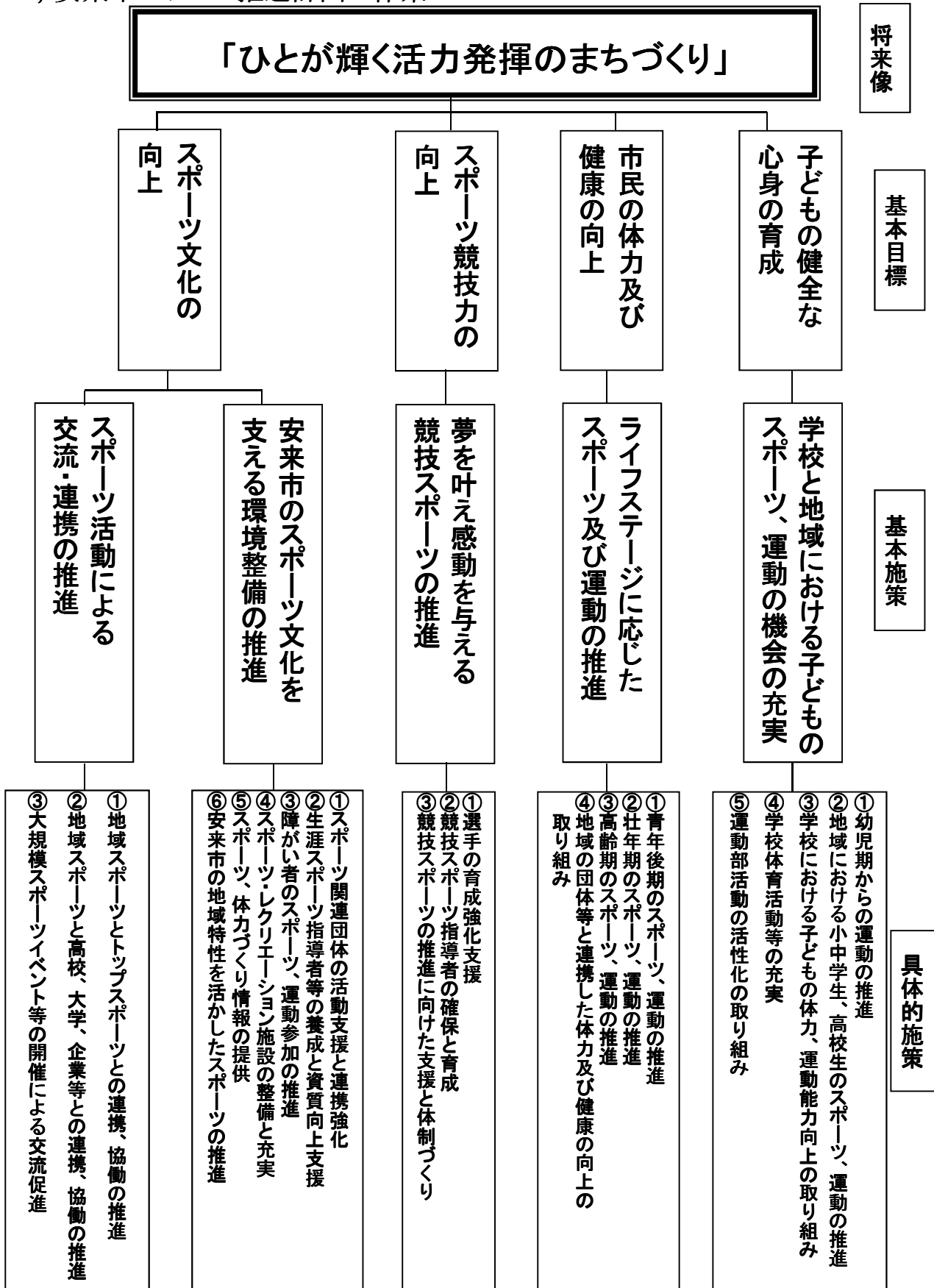
安来市スポーツ推進計画を推進するにあたり、毎年度、安来市スポーツ推進審議会(\*)において進捗状況を報告し検証します。

##### (\*)安来市スポーツ推進審議会とは

安来市スポーツ推進審議会は、有識者、スポーツ関係団体の代表者、関係行政機関の職員で組織し、市長の諮問に応じ次のスポーツに関する事項の審議を行います。

- ・スポーツ推進計画に関すること
- ・スポーツ施設及び設備に関すること
- ・スポーツ指導者の養成及びその資質向上に関すること
- ・スポーツ事業の実施及び奨励に関すること
- ・スポーツ団体の育成に関すること
- ・スポーツ技術水準の向上に関すること

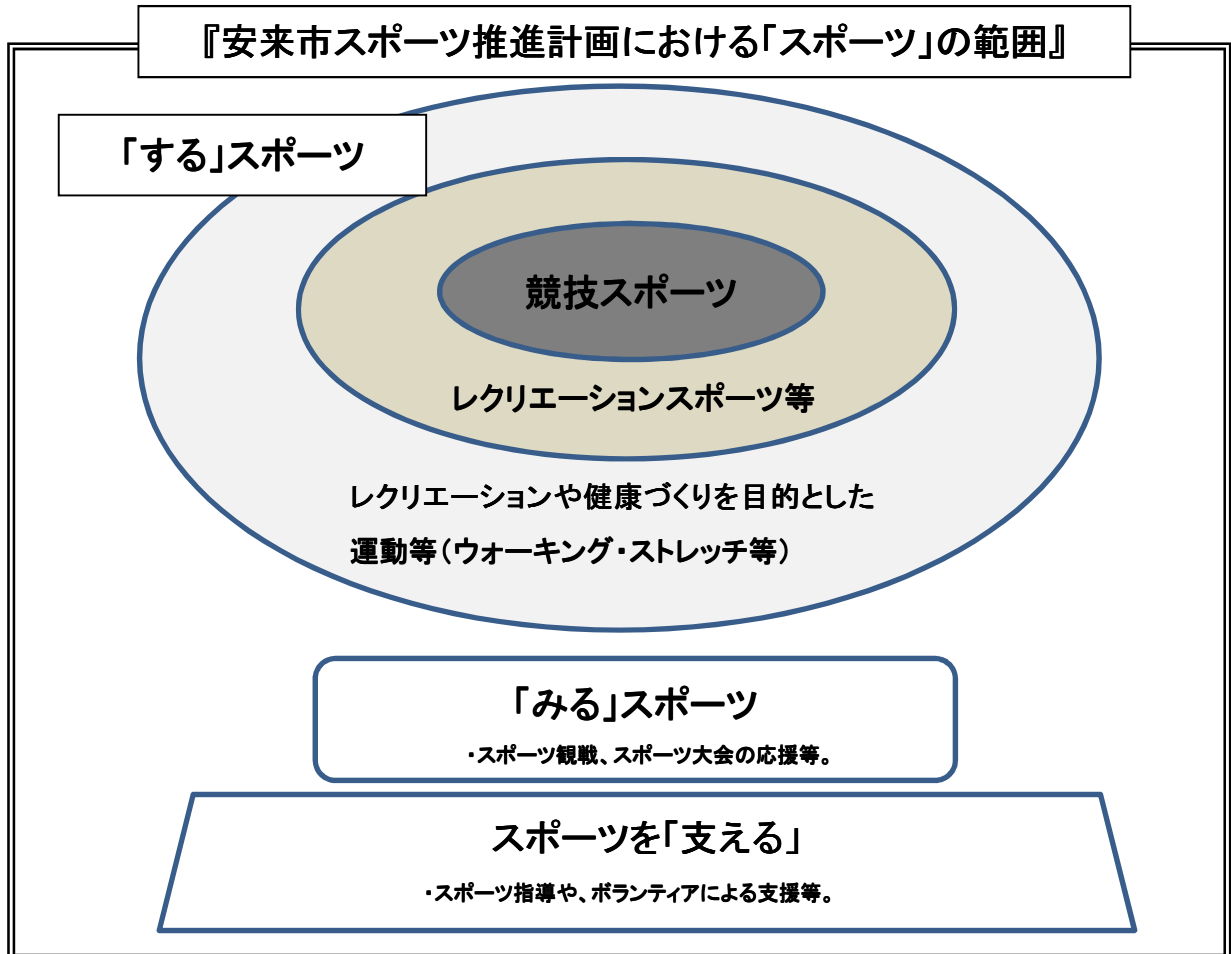
6, 安来市スポーツ推進計画の体系



## 7, 本計画における「スポーツ」の範囲

本計画では「スポーツ」の範囲を、勝敗や記録を競うこと等を目的とした競技スポーツを始め、\*レクリエーションスポーツやウォーキング、\*ストレッチなど、レクリエーションや健康づくりを目的として行われる運動についても含みます。

また、自らが身体を動かす「する」スポーツだけでなく、スポーツ観戦などの「みる」スポーツや、スポーツ活動を支えるスポーツ指導やボランティア活動及び、スポーツ関連情報の提供やスポーツ施設の整備等についてもスポーツに関連する施策として含みます。



## 8, 本計画におけるライフステージの年齢設定について

本計画の\*ライフステージの年齢設定は、島根県スポーツ推進計画の年齢設定に準じており、個人によって差があるが、概ね下記のとおり年齢を想定しています。

### ◇安来市スポーツ推進計画におけるライフステージ区分

年齢	3～5	6～12	13～15	16～18	19～35	36～64	65～
ライフステージ	幼児期	学童期	青年前期		青年後期 (青年期)	壮年期	高齢期
		(小学生)	(中学生)	(高校生)			

## 第2章 スポーツ推進の現状と課題及び具体的施策の展開

### 1, 学校と地域における子どものスポーツ、運動の機会の充実

#### (1) 幼児期(概ね3歳～5歳)からの運動の推進

##### 【現状】

- ・共働き家庭の増加や少子化の進行により、親と子の触れ合いや、同世代の友人との遊びの機会が減少している。
- ・家庭や地域における外遊び、集団遊びの機会が減少している。
- ・保育所、幼稚園等の関係者において、外遊びの必要性、子どもの体力についての重要性の認識が高まっている。

##### 【課題】

- ・幼児期の子どもに対し、外遊びや集団遊び等を通じて運動を楽しむ場の提供。
- ・運動をする子どもとしない子どもの二極化への対応。
- ・保護者へ子どもの外遊びや集団遊び等の重要性の啓発。
- ・市教育委員会、健康福祉担当課等と連携協力の推進。

##### 【具体的施策の展開】

具体的取り組み	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
乳幼児教室等を利用し、遊びを通じた運動実践のPR実施	●乳幼児教室	子ども未来課	安来市
幼児対象運動教室等の開催	●幼児対象スポーツ教室 他 ●親子対象水泳教室 他	地域振興課	*総合型地域スポーツクラブ、スイミングスクール安来 他
保育士、幼稚園教諭等対象の幼児期運動実践研修の実施	●保育士、幼稚園教諭等対象の幼児期運動研修会	地域振興課 (市教育委員会・子ども未来課)	総合型地域スポーツクラブ、安来市
未就学児童とその保護者を対象とした体力向上支援	●地域と連携した子どもの体力向上支援事業 ◎レクリエーションによる体力向上事業	地域振興課 (子ども未来課・市レクリエーション協会)	総合型地域スポーツクラブ、*地区交流センター 他
保育所、幼稚園における幼児期運動の支援	◎保育所、幼稚園等への運動指導者派遣(*好循環推進プロジェクト事業)	地域振興課 (市教育委員会・子ども未来課)	総合型地域スポーツクラブ

## (2) 地域における小中学生、高校生のスポーツ、運動の推進(概ね6歳～18歳)

### 【現状】

- ・運動習慣のある子どもと、ない子どもの二極化が生じている。
- ・小学生スポーツ関係団体間の連携が不足している。
- ・小学生スポーツ団体関係者と小学校の関係者と連絡協議の場が少ない。
- ・小学生のスポーツ参加において、長時間の練習や大会への参加が多くなる傾向が見られる。
- ・小学生低学年段階から単一競技のみに取り組む傾向が見られる。
- ・小学生の段階から不規則な食事や睡眠不足など、生活習慣の乱れが見られる。

### 【安来市スポーツ少年団の状況】

- ・平成25年度 安来市スポーツ少年団登録団体:41団体(県登録 30団体)  
(種目)  
軟式野球、硬式野球、バレーボール、剣道、柔道、ソフトテニス、テニス、バスケットボール  
フェンシング、空手、複合
- ・平成25年度 安来市スポーツ少年団登録人数:832人(内小学生 755人)  
(平成25年度 安来市内小学校児童数:2,157人)  
\*平成25年度安来市スポーツ少年団登録団体加入割合:755人/2,157人≒35%

### 【課題】

- ・子どもたちの日常生活において、生活環境等の変化により、体を動かす機会が減少している。
- ・\*スポーツ少年団、スポーツクラブ、運動部活動等に参加していない児童、生徒に対し、気軽に参加できるスポーツ、運動の機会の提供。
- ・小学生スポーツの指導者、保護者等に対し、発達段階に応じた運動プログラムの必要性について啓発の実施。
- ・高校の運動部活動に所属していた生徒の、部活動終了後のスポーツ参加の機会の提供。
- ・中学、高校において運動部活動を選択しない生徒に対して、地域のスポーツ行事への参加やスポーツ大会等へのボランティア参加の働きかけが必要。

## 【具体的施策の展開】

具体的取り組み	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
スポーツ少年団等の活動支援	●指導者研修会 ●団員対象体カテスト 他	地域振興課 (市教育委員会)	市スポーツ少年団
野外体験活動等の実施及び支援	●*子ども探検隊 ●野外活動(筏下り、カヌー教室等) 他	地域振興課 (市教育委員会、地域ボランティア 他)	市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、安来市 他
スポーツ体験教室の開催	●フェンシング教室 他	地域振興課 (市教育委員会)	*市体育協会
*ニュースポーツ体験教室等の開催	○*スポレク広場 他	地域振興課	*市スポーツ推進委員連絡協議会、総合型地域スポーツクラブ、市レクリエーション協会
スポーツ大会及びスポーツ教室の開催	●各種スポーツ大会 ●各種スポーツ教室 他	地域振興課	市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、地区交流センター、スイミングスクール安来 他
地域のスポーツ行事等への参加の取り組み	●地区体育祭 ●地区スポーツ大会 他	地域振興課 (市教育委員会)	市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、地区交流センター 他
小学生対象の体力向上支援	●地域と連携した子どもの体力向上支援事業	地域振興課 (市教育委員会、子ども未来課)	総合型地域スポーツクラブ、地区交流センター、*放課後児童クラブ 他
健全な体づくりのための生活習慣及び食生活改善等の取り組み	○スポーツと食事に関する講習会等の開催	地域振興課 (子ども未来課、市教育委員会)	安来市
ニュースポーツ等を活用した体力向上の取り組み	◎小学生対象レクリエーションによる体力向上事業	地域振興課 (市教育委員会、市レクリエーション協会)	地区交流センター、放課後児童クラブ、市レクリエーション協会 他

### (3) 学校における子どもの体力、運動能力向上の取り組み

#### 【現状】

- ・子どもたちの運動離れや運動習慣のある子どもと、ない子どもの二極化が生じている。
- ・安来市の小学生の体力状況【\*全国体力・運動能力等調査から】

＜小学生男子＞

50m走は、全国平均、島根県平均と比較し高い値を示している。

握力、上体起こし、長座体前屈は、全国平均、島根県平均と比較し、低い値を示している。

<小学生女子>

50m走は、全国平均、島根県平均と比較し高い値を示している。

握力、上体起こしは、全国平均、島根県平均と比較し低い値を示している。

【資料】

◇平成25年度 安来市小学校スポーツテスト結果 (資料提供:安来市小学校体育連盟)

【男子平均】

	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅 とび	ソフトボール 投げ
1年	8.7	10.6	25.7	27.3	18.7	11.7	110.4	8.4
2年	10.4	13.1	26.9	31.1	29.6	10.8	126.7	12.3
3年	12.1	14.6	27.0	36.0	40.3	10.2	139.2	17.3
4年	13.6	16.3	29.5	39.1	47.2	9.7	142.3	20.1
5年	16.5	18.8	31.6	43.4	56.6	9.4	153.3	24.1
6年	19.2	20.2	34.0	45.0	64.3	8.9	166.6	29.4

【女子平均】

	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅 とび	ソフトボール 投げ
1年	8.0	10.5	28.6	26.2	16.2	11.9	101.0	5.4
2年	10.1	12.4	29.6	29.3	23.1	11.0	119.3	7.8
3年	10.9	14.4	31.3	34.1	31.9	10.5	130.3	9.4
4年	12.7	15.7	33.7	36.8	36.3	9.9	134.3	12.2
5年	15.5	17.1	36.8	41.6	46.2	9.6	144.7	15.2
6年	17.9	18.7	39.0	42.8	49.8	9.2	157.8	17.3

【課題】

- ・生活様式の変化等により子どもたちの運動経験が減少する傾向にある。
- ・児童、生徒の運動離れや運動習慣の二極化への対応が必要。
- ・筋力や筋持久力、柔軟性を高める運動の内容や質などの工夫と見直しが必要。
- ・児童、生徒の運動習慣の定着化が必要。

## 【目標】

・島根県内小中高生の体力テスト結果のピーク時であった、昭和61年当時の体力に近づけることを目標とする。(島根県スポーツ推進計画より)

### 【数値目標】

体力テスト数値がピークだった時期の昭和61年を100%とした場合との体力比較

中学2年生:平成23年度95.5% → 平成27年度97.5%

※体力比較:中学校2年男女の握力、50m走、持久力、ボール投げの比較

## 【具体的施策の展開】

具体的取り組み	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
*体力向上推進計画の策定と実践	●体力向上推進計画の策定と実践活動	市教育委員会	小学校・中学校
小学校・中学校体力テスト結果の分析及び活用検討	◎安来市全体の小学校・中学校体力テスト結果の分析	市教育委員会 (地域振興課)	市教育委員会
トップアスリートによる学校授業等支援	●「夢授業」事業 ◎トップアスリートの学校派遣(好循環推進プロジェクト)	地域振興課 (市教育委員会)	小学校、中学校、総合型地域スポーツクラブ

## (4) 学校体育活動等の充実

### 【現状】

- ・\*新学習指導要領の実施。
  - ①小学校(平成23年度から)
  - ②中学校(平成24年度から)
  - ③高等学校(平成25年度から)
- ・新学習指導要領改定の内容。
  - ①児童、生徒に身につけさせるべき学習内容の明確化。
  - ②児童、生徒の発達段階に考慮し、4年間をひとまとまりとして体系化。  
(小学校1～4年生、小学校5年生～中学校2年生、中学校3年生～高校3年生)
  - ③小学校(1～4年生)と中学校で、体育授業時間数の増加。

### 【課題】

- ・児童、生徒の体力低下への対応。
- ・運動離れや運動習慣の少ない児童、生徒への対応。



## 【具体的施策の展開】

具体的取り組み	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
安来市の特色あるスポーツ種目の普及	○体育授業における取り組み(フェンシング等)	市教育委員会 (地域振興課)	小学校、中学校、市体育協会
小学校体育授業の支援	◎小学校体育活動コーディネーター派遣(好循環推進プロジェクト)	市教育委員会 (地域振興課)	小学校、総合型地域スポーツクラブ

## (5) 運動部活動の活性化の取り組み

### 【現状】

- ・中学校運動部活動の加入割合が徐々に減少している。
- ・運動部活動の種目数が減少している中学校がある。
- ・中学校で運動部活動を加入していた生徒が、高校に入学すると運動部活動を選択しない傾向がある。
- ・高校生の年代では、通学距離の問題や多忙さなどにより運動部活動の加入率が低下する傾向がある。

### 【資料】

#### ◇安来市中学校運動部部員数・加入割合比較

学校名	H22 年度			H25 年度		
	生徒数	部員数	加入割合	生徒数	部員数	加入割合
第一中学校	人 484	人 303	62.6%	人 478	人 325	人 68.0%
第二中学校	132	89	67.4%	133	84	63.2%
第三中学校	177	129	72.9%	186	120	64.5%
伯太中学校	152	130	85.5%	122	83	68.0%
広瀬中学校	215	173	80.5%	173	121	69.9%
計	1,160	824	71.0%	1,092	733	67.1%

【資料】

◇安来市内高等学校運動部種目及び加入割合(平成25年度)

○安来高等学校((\*)社会体育種目)

運動部種目	バレーボール、バスケットボール、フェンシング、卓球、野球、陸上、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、水泳(*) 柔道(*) 計11種目(社会体育 2種目を含む)		
運動部加入割合	全校生徒数	運動部加入生徒数	運動部加入割合
	454 人	273 人	60.1%

○情報科学高等学校

運動部種目	バレーボール、卓球、野球、陸上、テニス、ソフトテニス、バドミントン、サッカー、剣道 計9種目		
運動部加入割合	全校生徒数	運動部加入生徒数	運動部加入割合
	254 人	111 人	43.7%

【課題】

- ・生徒数の減少に伴う、運動部活動種目の減少と部員数の減少への対応。
- ・指導者の確保と指導者資質の向上。
- ・経験の少ない運動部活動顧問教諭への支援。

【具体的施策の展開】

具体的取り組み	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
運動部活動の複数校合同参加体制の検討	●運動部活動の複数校合同参加体制の整備検討	市教育委員会	中学校
学校運動部活動への地域スポーツ指導者派遣(希望校に対し実施)	●運動部活動地域スポーツ指導者派遣事業 ◎スポーツ指導者派遣(好循環推進プロジェクト)	市教育委員会 (地域振興課、市体育協会)	中学校、総合型地域スポーツクラブ
小学生スポーツ団体、中学校・高校部活動の連携推進	●小学生スポーツ団体、中学校部活動、高校部活動合同練習会等の開催	市教育委員会、地域振興課	市スポーツ少年団、中学校、安来高校、情報科学高校

## 2, ライフステージに応じたスポーツ及び運動の推進

### (1) 青年期・壮年期(概ね19歳～35歳)のスポーツ、運動の推進

#### 【現状】

- ・グループ等で行うスポーツ活動から個人としてスポーツ活動に取り組む人が増加する傾向にある。
- ・スポーツジムでのトレーニング、ウォーキング、ジョギング愛好者が増加している。
- ・乳幼児等の子育て期においては、子育てに時間をとられ自らがスポーツに取り組むことが難しい傾向にある。
- ・自らの子どものスポーツ活動への参加をきっかけとして、スポーツ指導者やチームマネジメント等への参加が見られる。

#### ◇市民アンケート結果(20代、30代)

②の項目以外は各年代の最多回答数を記載

年代・性別	20代男性	20代女性	30代男性	30代女性
①スポーツ、運動をする理由	楽しい・好きだから			
②スポーツ、運動をしない理由	1位:仕事、家事、育児が忙しい 2位:はじめるきっかけがない			
③スポーツ、運動をする時間帯	特に決まっていない	平日の夜	平日の夜	平日の夜
④スポーツ、運動をする仲間	友人	友人	職場や学校の仲間	友人
⑤スポーツ、運動をする場所	市内公共体育施設	市内学校体育施設	市内公共体育施設	自宅
⑥参加したいスポーツ行事等	スポーツ大会(競技者参加)	親子で参加できる行事	スポーツ大会(競技者参加)	自宅

⑦20代、30代の男性において、スポーツ、運動をすることが好きな人の割合が高い。(20代:80.8%、30代:82.5%)

⑧30代男性について、スポーツ実践の割合が高い。(月1回以上実施 57.5%)

⑨20代女性の体協や地区団体等が行うスポーツ行事への参加割合が低い。(5.1%)

⑩30代女性について、他の世代と比較し、スポーツ、運動を実践が少ない傾向がある。(4.3%)

## 【課題】

- ・新社会人のスポーツ活動参加への取り組み及びきっかけづくりが必要。
- ・青年期のスポーツ活動参加への取り組みが必要。
- ・親子で運動、スポーツを楽しむ場の提供。

## 【具体的施策の展開】

具体的取り組み ( * 再掲 )	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
地域のスポーツ行事等への参加の取り組み( * )	●地区体育祭 ●地区スポーツ大会 他	地域振興課	市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、地区交流センター 他
スポーツ大会及びスポーツ教室の開催( * )	●各種スポーツ大会 ●各種スポーツ教室 他	地域振興課	市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、地区交流センター、スイミングスクール安来 他
親子を対象とした体力向上支援	● * 地域と連携した子どもの体力向上支援事業( * ) ◎レクリエーションによる体力向上事業( * )	地域振興課 (市教育委員会)	総合型地域スポーツクラブ、地区交流センター 他

## (2) 壮年期(概ね36歳～64歳)のスポーツ、運動の推進

### 【現状】

- ・地域におけるスポーツ活動の指導や組織の運営において、中心的な役割を担っている世代である。
- ・子どもの小学校卒業を機に親子でスポーツに親しむ機会が減少する傾向がある。

### ◇市民アンケート結果(40代、50代)

②の項目以外は各年代の最多回答数を記載

年代・性別	40代男性	40代女性	50代男性	50代女性
①スポーツ、運動をする理由	楽しい・好きだから	楽しい・好きだから	楽しい・好きだから	健康づくり、体力づくりのため
②スポーツ、運動をしない理由	1位: 仕事、家事、育児が忙しい 2位: はじめるきっかけがない			
③スポーツ、運動をする時間帯	特に決まっていない	平日の夜	特に決まっていない	特に決まっていない

④スポーツ、運動をする仲間	一人	サークルやクラブの人	一人	一人
⑤スポーツ、運動をする場所	市内公共体育施設	市内学校体育施設	市内公共体育施設	市内学校体育施設
⑥参加したいスポーツ行事等	スポーツ大会(競技者参加)	健康づくり、体力づくり教室	レクリエーション的行事	健康づくり、体力づくり教室

⑦40代男性において、体協、地域団体等が実施するスポーツ行事へ参加する人の割合が高く(50.0%)、市内スポーツ施設を利用する人の割合も高い。(50.0%)

⑧50代男性において、スポーツ、運動を実践する人の割合が低下する傾向にある。(19.2%)

⑨40代女性において、スポーツ、運動を実践する人の割合が低い。(12.7%)

⑩40代、50代女性において、機会があればスポーツ、運動を始めてみたい人の割合が高い。(40代:73.5%・50代:81.0%)

### 【課題】

- ・仕事等によりスポーツ活動等の継続が難しい傾向にある。
- ・中学生以上の子どもを持つ親に対し、夫婦または個人で親しむスポーツ活動への転換への働きかけが必要。
- ・気軽にできるスポーツ、運動種目の普及。
- ・家庭等で手軽にできる運動の普及。

### 【具体的施策の展開】

具体的取り組み ( * 再掲 )	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( ) 協力団体等	実施団体等
地域のスポーツ行事等への参加の取り組み( * )	●地区体育祭 ●地区スポーツ大会 他	地域振興課	市体育協会、地区交流センター、総合型地域スポーツクラブ 他
スポーツ大会及びスポーツ教室の開催( * )	●各種スポーツ大会 ●各種スポーツ教室 他	地域振興課	市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、地区交流センター、スミングスクール安来 他
体力測定、スポーツテストの実施	●地区スポーツテスト ●地区体力測定	地域振興課、いきいき健康課(スポーツ推進委員)	市体育協会、*市健康推進会議 他
ウォーキング等の推進	●ウォーキング大会 ●健康づくりマラソン大会 他	いきいき健康課、地域振興課、(スポーツ推進委員)	市体育協会、市健康推進会議、地区交流センター 他
家庭等でできる運動の推進	●ラジオ体操、ストレッチ体操等の普及推進	いきいき健康課	市健康推進会議、地区交流センター 他

### (3) 高齢期(概ね65歳～)のスポーツ、運動の推進

#### 【現状】

- ・健康づくりの一環として、スポーツ、運動に親しむ人が多い。
- ・安来市の高齢化率(65歳以上の人口比率)30.5%。(平成22年国勢調査より)
- ・65歳以上で自立できる期間が、女性は県平均を上回っているが、男性は下回っている。

#### 【資料】

##### ◇安来市にける65歳平均自立期間(\*)

【資料提供:いきいき健康課】

性別	男性					女性				
	年	H14	H17	H18	H21	H22	H14	H17	H18	H21
安来市	16.53		17.24		17.12	21.53		21.16		21.35
島根県	16.64		16.86		17.18	20.56		20.70		20.88
全国		16.66		17.24			20.13		20.48	

(\*)平均自立期間とは、65歳以降の日常生活に介護を要しない期間(年数)

注)全国数値は該当年のみ算出。島根県、安来市の数値は、該当年とその前年及び翌年の3か年を平均し算出。(例:H17数値⇒H16、H17、H18の3か年の平均数値)

##### ◇市民アンケート結果(60代、70代)

②の項目以外は各年代の最多回答数を記載

年代・性別	60代男性	60代女性	70代男性	70代女性
①スポーツ、運動をする理由	健康づくり、体力づくりのため			
②スポーツ、運動をしない理由	はじめるきっかけがない	仕事、家事等が忙しい	仕事、家事等が忙しい	仲間がいない
③スポーツ、運動をする時間帯	特に決まっていない	平日の午後	平日の午前	平日の午前
④スポーツ、運動をする仲間	一人	一人	一人	一人
⑤スポーツ、運動をする場所	公園や近くの空き地	交流センター、自治会集会所等	自宅	自宅
⑥参加したいスポーツ行事等	健康づくり、体力づくり教室	健康づくり、体力づくり教室	レクリエーション的行事	健康づくり、体力づくり教室

⑦70代の男女ともに、体協や地区団体等が行うスポーツ行事等へ参加したくない割合が高くなる傾向がある。(70代男性:22.6%・70代女性:28.1%)

## 【課題】

- ・気軽にできるスポーツ、運動種目の普及。
- ・家庭等で手軽にできる運動の普及。

## 【具体的施策の展開】

具体的取り組み ( * 再掲)	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
スポーツ大会・スポーツ教室の開催( * )	●各種スポーツ大会 ●各種スポーツ教室 他	地域振興課、高齢者安心課	市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、地区交流センター、市老人クラブ連合会、スイミングスクール安来 他
体力測定、スポーツテストの実施( * )	●地区スポーツテスト ●地区体力測定	地域振興課、いきいき健康課 (スポーツ推進委員)	市体育協会、市健康推進会議 他
ウォーキング等の推進( * )	●ウォーキング大会 ●健康づくりマラソン大会	いきいき健康課、高齢者安心課、地域振興課 (スポーツ推進委員)	市体育協会、市健康推進会議、地区交流センター 他
運動による健康づくり教室、講座の開催( * )	●健康づくり体操(ストレッチ・ゴムバンド運動)講習会	いきいき健康課、高齢者安心課、(地域振興課)	市健康推進会議、地区交流センター 他
家庭等でできる運動の推進( * )	●ラジオ体操、ストレッチ体操、ゴムバンド運動の普及推進	いきいき健康課、高齢者安心課、(地域振興課)	市健康推進会議、地区交流センター 他

## (4) 地域の団体等と連携した体力及び健康の向上の取り組み

### 【現状】

- ・地区交流センターでは、自主事業及び、地区体育協会、地区健康推進会議と連携し、ウォーキング大会や各種スポーツ大会等を開催している。
- ・地区交流センター単位に地区健康推進会議が組織され、運動による健康づくりに取り組まれている。
- ・地区体育協会が行うスポーツ大会について、ニュースポーツ種目へ変更する事例が増えている。

【資料】

◇安来市地区交流センター及び安来市地区健康推進会議設置状況

No	地区交流センター名	地区健康推進会議(地区保健部会)名
1	飯梨交流センター	飯梨地区健康づくり推進協議会
2	赤江交流センター	赤江地区健康会議
3	島田交流センター	島田地区健康推進会議
4	荒島交流センター	荒島地区健康推進協議会
5	社日交流センター	社日地区体育協会(健康事業部)
6	宇賀荘交流センター	宇賀荘地区健康を楽しむ会
7	吉田交流センター	吉田地区健康会議
8	大塚交流センター	大塚地区健康推進会議
9	能義交流センター	能義地区健康推進会議
10	十神交流センター	十神地区健康推進会議
11	広瀬交流センター	広瀬地区健康推進会議
12	菅原交流センター	菅原地区すこやか会
13	下山佐交流センター	下山佐地区健康を守る会
14	布部交流センター	はつらつ健康布部21
15	宇波交流センター	宇波地区健康を守る会
16	比田交流センター	比田すこやか21
17	東比田交流センター	東比田地区健康を守る会
18	西谷交流センター	西谷すこやか会
19	山佐交流センター	山佐地区健康を守る会
20	奥田原交流センター	ファイトたわら
21	安田交流センター	安田地区健康会議
22	母里交流センター	母里地区さわやか健康会議
23	井尻交流センター	いきいき井尻健康会
24	赤屋交流センター	赤屋地区健康会議

【課題】

- ・地区交流センター及び地区健康推進会議が行う、運動による健康づくりの取り組み状況に地域差がある。
- ・地区体育協会が行うスポーツ大会において、参加者の減少が見られる大会がある。また、種目別大会については、参加者が固定している事例がある。



## 【具体的施策の展開】

具体的取り組み	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
地域の健康づくり団体等と連携したスポーツ、運動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ウォーキング大会</li> <li>●*レク式体カチェックの普及</li> <li>●体力・健康づくり講座等の開催</li> <li>他</li> </ul>	いきいき健康課、高齢者安心課、地域振興課 (市スポーツ推進委員、市レクリエーション協会)	市体育協会、市健康推進会議、地区交流センター 他

## 3, 夢を叶え感動を与える競技スポーツの推進

### (1) 選手の育成強化支援

#### 【現状】

- ・安来市体育協会に対し助成を行い、各競技種目団体の育成を図っている。
- ・安来市体育協会の競技部には、平成25年度現在、23種目団体が所属している。

#### 【安来市体育協会競技部団体名】(平成25年度)

陸上、水泳、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、卓球、野球、柔道、バドミントン、剣道、射撃、サイクリング、ターゲットバードゴルフ、ゲートボール、テニス、ソフトボール、空手道、グラウンドゴルフ、ペタンク、フォークダンス、フェンシング、太極拳、ビーチボール 計23団体

- ・安来市在住及び出身者で国際大会、国民体育大会、日本選手権大会等に出場する選手に対し激励金の交付を行っている。なお、平成25年度より制度を拡充し、国際大会出場及び障がい者スポーツの全国大会出場についても対象としている。

#### 【資料】

#### ◇安来市スポーツ全国大会等出場激励金制度交付実績

大会区分	交付区分	交付年度				
		21	22	23	24	25
スポ少全国大会	団体			1		
国民体育大会	個人	12	10	6	11	9
日本選手権	個人	3	1	2	3	2
	団体					2
世界大会	個人					6
計		15	11	9	14	19

## 【課題】

- ・安来市体育協会競技部組織の活性化。
- ・団体種目の国民体育大会、日本選手権大会への出場が少ない傾向にある。
- ・国民体育大会、日本選手権大会の個人種目の出場については、出場種目が固定化しつつある。

## 【具体的施策の展開】

具体的取り組み	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
安来市体育協会との連携	●体育協会運営助成	地域振興課	市体育協会
スポーツ全国大会等出場者(団体)への激励金支給	●スポーツ全国大会等激励金制度	地域振興課	安来市
トップアスリート参加大会開催支援	●bjリーグ安来大会 ◎平成28年全国高等学校総合体育大会(テニス)	地域振興課 (市体育協会、市教育委員会)	bjリーグ安来市大会 実行委員会、県教育委員会、県高体連 他
スポーツ教室等の開催	●各種スポーツ教室 ◎トップアスリート指導クリニック (好循環推進プロジェクト) 他	地域振興課(市教育委員会)	市体育協会、市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、スイミングスクール安来 他

## (2) 競技スポーツ指導者の確保と育成

### 【現状】

- ・公認資格を持つスポーツ指導者数が減少しており、有資格指導者の育成が必要。また、過去に公認資格を持ちながら更新をしない指導者が多い。

#### 【安来市競技スポーツ関係指導者数】

・安来市内 日本体育協会公認スポーツ指導者数:70人(平成25年度現在)

\*過去に資格を有し、平成25年度現在、上記の資格が無い者:73人

### 【課題】

- ・公認資格を持つスポーツ指導者の育成。
- ・競技スポーツの指導に向けた意識の醸成。
- ・競技スポーツ指導者の活用促進。

### 【具体的施策の展開】

具体的取り組み	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
スポーツ指導者等研修会の開催	●スポーツ指導者研修会事業	地域振興課 (市教育委員会)	市体育協会、市スポーツ少年団
スポーツ指導者登録体制の整備	◎スポーツ指導者派遣事業(好循環推進プロジェクト)	地域振興課 (市体育協会)	総合型地域スポーツクラブ、市体育協会

### (3) 競技スポーツの推進に向けた支援と体制づくり

#### 【現状】

- ・バレーボール、フェンシング種目等の競技において、小学生、中学生等を対象に種目の普及を目的とした体験教室が開催されている。
- ・バレーボール種目等において、選手、指導者の連携強化等を目的とした、小学生と中学生及び、中学生と高校生の合同練習等の取り組みが行われている。
- ・市と市内の高校(安来高校、情報科学高校)が連携し、高校バレーボール島根県大会を開催している。

#### 【課題】

- ・レベルの高い競技スポーツを体験する場の提供。
- ・小学生の段階において多様な競技スポーツを体験する場の提供。
- ・小学生スポーツ団体、中学校部活動、高校部活動の連携促進。
- ・競技スポーツ関係の大会情報及び結果等のPRの促進。

### 【具体的施策の展開】

具体的取り組み (*再掲)	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
スポーツ体験教室の開催(*)	●フェンシング教室 他	地域振興課 (市教育委員会)	小学校、中学校、市体育協会
小学生スポーツ団体、中学校・高校部活動の連携推進(*)	●小学生スポーツ団体、中学校・高校部活動合同練習会等開催	地域振興課、市教育委員会	市スポーツ少年団、中学校、安来高校、情報科学高校
中学校、高校体育連盟等の支援と連携	●*春の高校バレー島根県大会 他	地域振興課 (市教育委員会、市体育協会)	中学校、安来高校、情報科学高校

## 4, 安来市のスポーツ文化を支える環境整備の推進

### (1) スポーツ関連団体の活動支援と連携強化

#### 【現状】

- ・市と市体育協会が協力し、市全域を対象としたスポーツ大会の開催や市民体力テストを実施している。
- ・法人格を持つ総合型地域スポーツクラブにおいて、市の主要体育施設の\*指定管理を行い、スポーツ教室等の自主事業を積極的に展開している。
- ・市(保健予防担当課)及び地区交流センターと\*市レクリエーション協会が連携し、運動による健康づくり事業を展開している。
- ・総合型地域スポーツクラブと市レクリエーション協会が連携し、スポーツ・レクリエーション大会等を開催している。
- ・市民アンケートにおいて、安来市体育協会等が実施するスポーツ行事に「参加した」と回答した人は27.5%に留まっている。
- ・市民アンケートにおいて、総合型地域スポーツクラブについて「知っている」「聞いたことがある」と回答した人は、18.7%に留まっている。特に20歳代から30歳代の世代において、知らない人が多い傾向にある。

#### 【安来市スポーツ等関連団体の状況】

##### ◇安来市体育協会地域振興部(地区体育協会)

島田、十神、社日、赤江、荒島、飯梨、能義、南、宇賀荘、母里、安田、井尻  
赤屋、広瀬、比田、山佐、布部 計17団体

##### ◇安来市内総合型地域スポーツクラブ

- ・\*NPO法人さくら総合スポーツクラブ(H14.10.1 設立)

平成25年度会員数:488人、スポーツ・レクリエーション活動種目:9種目

- ・島田総合スポーツクラブ(H18.5.22 設立)

平成25年度会員数:671人、スポーツ・レクリエーション活動種目:5種目

- ・みなみ総合スポーツクラブ(H21.3.29 設立)

平成25年度会員数:555人、スポーツ・レクリエーション活動種目:14種目

##### ◇安来市レクリエーション協会(H17.8.21 設立)

平成25年度会員数:28人

## 【課題】

- ・スポーツ関係団体間の連携、情報交換の不足。
- ・市民に市内の各総合型地域スポーツクラブの活動が十分に理解されていない。
- ・市と総合型地域スポーツクラブ及びスポーツ関連団体との連携について、検討が必要。

## 【具体的施策の展開】

具体的取り組み ( * 再掲 )	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( ) 協力団体等	実施団体等
安来市体育協会との連携( * )	●体育協会運営助成 ●自治会親善野球大会 ●市民体カテスト 他	地域振興課	市体育協会
総合型地域スポーツクラブとの連携	◎好循環推進プロジェクト 他	地域振興課 (市教育委員会)	総合型地域スポーツ クラブ
スポーツ・レクリエーション団体等との連携	◎レクリエーションによる体力向上 事業( * ) ●レク式体カチェックの普及( * )	いきいき健康課、高齢者安心課、地域振興課 (市スポーツ推進委員)	市レクリエーション協会、市健康推進会議、地区交流センター 他

## (2) 生涯スポーツ指導者等の養成と資質向上支援

### 【現状】

- ・小学生等のスポーツ指導については、平成25年度は208人が安来市スポーツ少年団の登録を行い、市内各地域においてスポーツ指導を行っている。
- ・各地域において生涯スポーツ等の推進を図るスポーツ推進委員(旧体育指導委員)は、地区交流センターからの推薦により委嘱し、各地域においてスポーツ活動の普及や市及び市体育協会が実施するスポーツ事業に協力している。

#### 【安来市の生涯スポーツ指導者の状況】

##### ◇安来市スポーツ少年団指導者数

平成25年度指導者数:208人(内認定員:72人)

##### ◇安来市スポーツ推進委員の委嘱状況【総数:38人(男性:28人、女性:10人)】

十神2人、社日2人、島田2人、宇賀荘2人、大塚1人、吉田1人、能義2人、飯梨2人  
荒島2人、赤江2人、広瀬2人、布部2人、宇波1人、比田1人、山佐1人、下山佐1人  
菅原1人、東比田1人、西谷1人、奥田原1人、安田2人、母里2人、井尻2人、赤屋2人

## 【課題】

- ・小学生、中学生等を対象としたスポーツ指導者に対し、競技力向上を目的とした研修のみでなく、発達段階に応じた適切な運動等について研修する場が必要。
- ・スポーツ推進委員が地域のスポーツ、健康づくり団体等と連携した活動や委員が広域で協力して活動ができる体制づくりが必要。
- ・生涯スポーツ指導者の活用の促進。

## 【具体的施策の展開】

具体的取り組み (*再掲)	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
スポーツ指導者等研修会の開催 (* )	●スポーツ指導者研修会事業	地域振興課 (市教育委員会)	市体育協会、市スポーツ少年団本部
スポーツ推進委員の活動支援	○スポーツ推進委員活動	地域振興課	市スポーツ推進委員連絡協議会
スポーツ指導者登録体制の整備 (* )	◎スポーツ指導者派遣(好循環推進プロジェクト)	地域振興課	総合型地域スポーツクラブ、市体育協会

### (3) 障がい者のスポーツ、運動参加の推進

#### 【現状】

- ・市内で開催される障がい者参加のスポーツ活動については、市の福祉部局及び市社会福祉協議会が主体となり実施しているが、一般のスポーツ関係団体との連携は図られていない。
- ・市最大のスポーツイベントである「なかうみマラソン全国大会」には、障がい者の参加がある。
- ・市内体育施設のバリアフリー化については、拠点体育施設である安来市民体育館、広瀬中央公園体育館、伯太体育館の3施設において、一部バリアフリー化改修を実施している。

#### 【課題】

- ・障がい者が健常者と一緒にスポーツ、運動を通じて楽しむ意識の醸成。
- ・障がい者と健常者が一緒に親しめるスポーツ、運動指導者の養成。
- ・障がい者がスポーツ、運動に親しめる環境づくりと安全にスポーツ観戦ができる施設環境の整備。

## 【具体的施策の展開】

具体的取り組み	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
体育施設バリアフリー化の推進	●*体育館等バリアフリー緊急整備事業 他	地域振興課、福祉課	安来市
障がい者と健常者が一緒に行うスポーツ活動等の検討	◎健常者と障がい者のスポーツ・レクリエーション活動研修会の開催検討	福祉課、地域振興課 (スポーツ推進委員)	安来市

### (4) スポーツ・レクリエーション施設の整備と充実

#### 【現状】

- ・市の公共スポーツ施設の大部分が竣工後30年以上を経過している。
- ・市内の学校体育施設は、全学校で開放事業を実施している。
- ・体育施設の予約申し込みについては、全施設が電話または窓口申込で対応しており、時間外の受付には対応していない。
- ・市民アンケートにおいて、市内のスポーツ施設利用が「ある」と回答した人は、全体の約25%に留まっている。また、市内スポーツ施設の満足度は、約60%の人が「満足」「まあまあ満足」と回答している。
- ・市民アンケートにおいて、市内のスポーツ施設の不満事項として「設備が不十分(33.3%)」「使用料が高い(19.0%)」「施設が狭い(14.3%)」が上位に挙げられている。
- ・市民アンケートにおける市内スポーツ施設に対し多かった要望は「使用料金を安く(28.2%)」、「施設情報の提供(17.2%)」、「設備の充実(16.4%)」、「駐車場の充実(12.9%)」となっている。

#### 【資料】

##### ◇安来市公共スポーツ施設設置状況

区分	施設名称	所在地	竣工年月	管理区分
体育館	安来市民体育館	安来市安来町	S56.9	指定管理
	広瀬中央公園・総合体育館	安来市広瀬町広瀬	S54.3	指定管理
	伯太体育館	安来市伯太町西母里	S55.9	指定管理
	安来南体育館	安来市沢町	S59.3	*直営
	広瀬体育館	安来市広瀬町広瀬	S35	直営
野球場	安来運動公園・野球場	安来市吉岡町	S55.3	指定管理
	広瀬中央公園・野球場	安来市広瀬町広瀬	S54.3	指定管理

	安来球場	安来市飯島町	S60.3	直営
	安来西部球場	安来市上坂田町	H7.11	直営
庭球場	安来運動公園・庭球場	安来市吉岡町	S55.3	指定管理
	広瀬中央公園・庭球場	安来市広瀬町広瀬	S54.3	指定管理
	伯太運動広場	安来市伯太町日次	S58.8	指定管理
陸上競技場	安来運動公園・陸上競技場	安来市吉岡町	S55.3	指定管理
	広瀬中央公園・陸上競技場	安来市広瀬町広瀬	S54.3	指定管理
多目的広場	伯太運動広場	安来市伯太町日次	S58.8	指定管理
	山佐運動広場	安来市広瀬町上山佐	-	直営
	東比田運動広場	安来市広瀬町東比田	-	直営
プール	安来運動公園・市民プール	安来市吉岡町	H1.10	直営
	広瀬勤労者体育センター	安来市広瀬町西比田	S47.3	直営
体育館:5箇所、野球場:4箇所、庭球場:3箇所、陸上競技場:2箇所 多目的広場:3箇所、プール:2箇所				

### 【課題】

- ・スポーツ施設の利用促進。
- ・拠点となる体育施設について、定期的な修繕が必要となっている。
- ・安来市民体育館、広瀬中央公園総合体育館、伯太体育館は、避難所の指定をしているため、耐震補強やバリアフリー化等の改修が必要。
- ・施設の利用促進を図るため、インターネット等を活用した予約受付システムの導入検討。

### 【具体的施策の展開】

具体的取り組み	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
スポーツ施設等の整備	●*スポーツ振興くじ助成事業 他	地域振興課	安来市
体育施設の耐震化とバリアフリー化の推進(*)	●体育施設バリアフリー化事業 他	地域振興課、福祉課 (建築住宅課)	安来市
学校体育施設の利用開放の促進	●学校体育施設の利用開放	市教育委員会	小学校、中学校
高校との連携による施設の開放	●高校の体育施設等の利用開放	県教育委員会	安来高校、情報科学 高校
体育施設予約システムの導入検討	◎体育施設予約システム導入検討	地域振興課、情報政策課	安来市



## (5)スポーツ、体力づくり情報の提供

### 【現状】

- ・市民へのスポーツ、体力づくり関係の情報提供は、市報、市のホームページ及び各世帯に設置された告知端末等により行われている。
- ・平成23年に市に開局したケーブルテレビ局(やすぎどじょっこテレビ)が、市内で行われたスポーツ関係行事の情報をテレビ映像にて放送している。  
また、同局が行っているデータ放送では、市体育協会加盟団体が主催する大会等のお知らせや大会結果等を提供している。
- ・体育施設の指定管理者から利用者等への施設情報等の提供について、指定管理者間で差が生じている。

### 【課題】

- ・市のホームページ等を活用し、市民に対し、スポーツ、体力づくり関係情報の定期的な発信が必要。
- ・市民に対し、情報提供の少ないスポーツ団体や指定管理者等については、各種情報媒体を活用した情報発信が必要。
- ・市内の告知端末設置状況は、83.2%(\*)となっており、多くの世帯で情報が確認できる環境にあるが、ケーブルテレビの契約世帯は、37.7%(\*)に留まっており、市内のスポーツ関係情報が視聴できる世帯は限られている。

(\*)平成26年1月現在のデータ

### 【具体的施策の展開】

具体的取り組み	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
各種情報媒体の活用によるスポーツ、体力づくり等の情報提供	○各種情報媒体の活用によるスポーツ、体力づくり等の情報提供	いきいき健康課、地域振興課(秘書課、情報政策課、やすぎどじょっこテレビ)	安来市、市体育協会、市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、地区交流センター 他

## (6) 安来市の地域特性を活かしたスポーツの推進

### 【現状】

- ・「なかうみマラソン全国大会」のマラソンコースである中海湾岸道路をはじめ、市内各所の道路等を利用し、ジョギングやウォーキング等に親しむ市民が多い。
- ・市内には史跡旧跡が多くあり、各種団体の主催により、これらの見学を兼ねたウォーキング大会等が開催されている。
- ・昭和57年に開催された「しまね国体」において安来市広瀬町がフェンシング競技の大会会場になり、それを契機として安来市ではフェンシング競技が普及しており、平成23年には安来高校男子フェンシング部がインターハイ優勝の快挙を成し遂げている。

現在もフェンシング協会関係者の努力により市内の小学生、中学生にフェンシング競技の普及に努められている。

- ・市内のスポーツ団体において、ウォーキングコースに距離表示を行い、ウォーキング愛好者への利用促進を図られている。

### 【課題】

- ・ウォーキングコース等の周知による、日常の運動継続への働きかけが必要。
- ・ウォーキングコース等については看板、距離表示等の設置が少ない傾向にある。
- ・安来市の特色あるスポーツの普及に向けての支援。

### 【具体的施策の展開】

具体的取り組み (*再掲)	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
ウォーキングコース、サイクリングコース、登山道等のPR	●ウォーキングコース、サイクリングコース、登山道等のPR	いきいき健康課、商工観光課、地域振興課	安来市、市体育協会、市健康推進会議、市観光協会 他
安来市の特色あるスポーツ種目の普及(*)	●学校体育授業における取り組み(フェンシング等)	市教育委員会 (地域振興課)	小学校、中学校、市体育協会
道路等を利用したスポーツ体カづくり環境の整備	●道路への距離表示等の実施	地域振興課、いきいき健康課(土木建設課)	市体育協会、市健康推進会議
市内宿泊施設の合宿プランのPR	●宿泊施設の合宿プランのPR	商工観光課	安来市、市観光協会

## 5, スポーツ活動による交流・連携の推進

### (1) 地域スポーツとトップスポーツとの連携、協働の推進

#### 【現状】

- ・各種目団体やスポーツ少年団において、プロスポーツや実業団チームの選手を招き実技指導等の教室が開催されている。
- ・島根県初のプロスポーツチーム「島根スサノオマジック」球団と連携し、公式戦開催を始め、小学校訪問、バスケットボール教室等の事業を行っている。

#### 【課題】

- ・トップアスリートによる実技指導等の教室が、限られた団体のみで開催される傾向にある。
- ・トップアスリートによる実技指導等が1回のみで開催される場合が多いため、継続的に指導を受けられる体制づくりが必要。
- ・市内においては、トップアスリートが出場する試合を観戦できる機会が少ない。

#### 【具体的施策の展開】

具体的取り組み ( * 再掲 )	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
トップアスリート参加大会開催支援 ( * )	● * bjリーグ安来市大会 ◎平成28年全国高等学校総合体育大会(テニス)	地域振興課 (市体育協会)	bjリーグ安来市大会 実行委員会、県教育委員会、県高体連
トップアスリートによる学校授業等 支援( * )	●「夢授業」事業 ◎トップアスリート小学校派遣(好循環推進プロジェクト)	市教育委員会、地域振興課	小学校、総合型地域スポーツクラブ
スポーツ教室等の開催( * )	◎トップアスリート派遣(好循環推進プロジェクト)	地域振興課(市体育協会、市スポーツ少年団)	総合型地域スポーツクラブ

## (2) 地域スポーツと高校、大学、企業等との連携、協働の推進

### 【現状】

- ・「なかうみマラソン全国大会」をはじめ、市内で開催される大規模なスポーツイベントについて、安来高校、情報科学高校の生徒がボランティアとして協力し、大会運営を支えている。
- ・「なかうみマラソン全国大会」については、市内各企業からの施設貸与やボランティア派遣等の協力体制が組まれている。
- ・地域のスポーツ団体と市内の高校及び中学校の運動部活動との連携については、種目ごとの連携に留まっている。

### 【課題】

- ・スポーツ団体等と市内の高校及び中学校との、スポーツ活動における協力、連携のあり方について検討が必要。
- ・スポーツ指導者の派遣等について、近隣の大学との協力、連携について検討が必要。

### 【具体的施策の展開】

具体的取り組み (*再掲)	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
中学校、高校体育連盟等の支援と連携(*)	●春の高校バレー島根県大会 他	地域振興課 (市教育委員会)	中学校、安来高校、 情報科学高校
大規模スポーツイベントへのボランティア等の協力	●なかうみマラソン全国大会 ●bjリーグ安来市大会	地域振興課 (市内各中学校、安来高校、 情報科学高校、市内各企業 他)	なかうみマラソン全国 大会実行委員会 bjリーグ安来市大会 実行委員会

## (3) 大規模スポーツイベント等の開催による交流促進

### 【現状】

- ・平成17年から始まった「なかうみマラソン全国大会」は、中海圏域の最大のスポーツイベントとして定着し、約5,000人が参加する山陰最大のマラソン大会となっている。この大会へは、市外からの参加者も多く、スポーツを通じた交流の場となっている。
- また、この大会を機にジョギング等の運動を始める人もあり、スポーツ実践への効果が大きい。
- ・春の高校バレー島根県大会については、市の秋のスポーツイベントとして定着しており、

県内各地から高校生バレーボール選手が集い、バレーボール愛好者を始め多くの観戦者がある。

・平成23年度から始まった「bjリーグ安来市大会」については、年間を通じて唯一、市内においてプロスポーツを観戦できる大会として定着しつつある。

### 【資料】

◇なかうみマラソン全国大会参加者数等の推移

	申込者数	参加者数	スタッフ数
	人	人	人
第1回	2,745	2,560	578
第2回	3,118	2,973	572
第3回	3,286	3,157	586
第4回	4,211	3,986	587
第5回	5,297	5,002	613
第6回	5,314	5,001	620
第7回	5,325	4,901	572
第8回	5,763	5,479	593
第9回	5,302	4,967	576

### 【課題】

- ・大規模スポーツ大会の継続開催に向けた、実行体制の確立。
- ・大会運営を支えるボランティアの育成と確保。
- ・スポーツ大会等の開催により交流の促進を図るため、スポーツ大会等の参加者と大会を支えるスタッフや観戦者との交流を図る機会が必要。

### 【具体的施策の展開】

具体的取り組み (*再掲)	事業名等 ◎新規・○拡充・●継続	所管課 ( )協力団体等	実施団体等
スポーツ交流大会の開催	●なかうみマラソン全国大会	地域振興課	なかうみマラソン全国大会実行委員会
スポーツ大会の開催、誘致(*)	●春の高校バレー島根県大会 ●bjリーグ安来大会 ◎平成28年度全国高等学校総合体育大会(テニス種目)	地域振興課 (市体育協会、市教育委員会)	県教育委員会、県高体連、bjリーグ安来市大会実行委員会 他

資料1

【安来市スポーツ推進（振興）審議会委員名簿】

会 長 荊尾 俊

副会長 花谷 幸男 安来市体育協会理事長（平成23年7月10日まで）

委 員 梅瀬 倫住 安来市体育協会理事（平成24年10月1日から）

岩佐 正仁 安来市体育指導委員（平成21年3月31日まで）

二岡 正和 安来市スポーツ推進委員（平成21年4月1日から）

中西 尚美 安来市スポーツ推進委員（平成25年3月31日まで）

長谷川清美 安来市スポーツ推進委員（平成26年4月1日から）

長谷川照正 安来市スポーツ少年団副本部長（平成23年3月31日まで）

野坂 啓二 安来市スポーツ少年団副本部長（平成23年4月1日から平成24年9月30日まで）

木戸 精一 安来市スポーツ少年団副本部長（平成24年10月1日から）

足立 隆博 安来市レクリエーション協会事務局長（平成23年3月31日まで）

山本 邦弘 安来市レクリエーション協会理事（平成23年4月1日から）

藪 美幸 安来市小学校体育連盟（小学校教員）

佐々木文和 安来市中学校体育連盟（中学校教員）

永井 宏尚 島根県立安来高等学校教員

堀江 淳子 赤江交流センター主事

細田 勤 市民生活部長（平成21年1月21日まで）

仁田 隆敏 健康福祉部長（平成21年1月22日から）

乗本 道子 安来市立病院内科部長（医師）

原 香代子 安来市健康福祉部子ども未来課主査（保健師）

松下 誠 安来市立山佐小学校校長（平成22年3月31日まで）

藤原 寛 奥出雲町立鳥上小学校校長（平成22年10月1日から平成24年9月30日まで）

勝部 雅之 安来市立広瀬小学校教諭（平成24年10月1日から平成25年3月31日まで）

福本 修司 安来市教育委員会社会教育主事（平成25年4月1日から）

用語の説明

	用語	説明
え	NPO法人	特定非営利活動促進法に基づいて特定非営利活動を行うことを主たる目的とし、設立された法人。
け	健康増進計画(健康やすぎ21)	安来市の健康づくりの取り組みの方向性や、目標を定めた計画。
こ	好循環推進プロジェクト事業	文部科学省委託事業の「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト事業」の略。 この事業は、文部科学省が全国の拠点型総合地域スポーツクラブを対象に実施する委託事業で、スポーツ指導者やトップアスリート等を活用した取り組みを行い、地域スポーツとトップスポーツの好循環の推進を目的とし、次の三つの小事業からなる。  1) トップアスリートによる指導 2) スポーツを活用した地域の課題解決に向けた取り組み 3) 小学校への体育活動コーディネーター(地域のスポーツ指導者)の派遣
	高齢者福祉計画・介護保険事業計画	高齢者福祉計画は、高齢者の福祉体制の確保を目的とした計画。介護保険事業計画は、介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を図るための計画。 この二つの計画は、一体として策定されている。
	子ども探検隊	安来市内の小学生を対象に自然体験や物づくりなどを通じて、子どもたちの豊かな心や地域への愛着心を育むことを目的とした事業。(安来市事業)
し	指定管理(指定管理者制度)	公共施設の管理・運営を、株式会社、財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。
	島根県スポーツ推進計画	島根県のスポーツ推進に関する計画。国のスポーツ基本法に定める地方スポーツ推進計画。
	障がい者基本計画	障がい者の福祉及び、障害の予防に関する、さまざまな施策を総合的に推進するための計画。
	食育推進計画	家庭、教育機関、地域等における食育活動の総合的な指針となる計画。
	新学習指導要領	文部科学省が学校教育法等に基づき定める、各学校で教育課程(カリキュラム)を編成する際の基準。

じ	次世代育成支援行動計画(やすぎ子育て・子育て応援プラン)	子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備を図るための取り組みについて定めた計画。
す	ストレッチ体操	筋肉や関節を伸ばす柔軟体操。
	スポーツ基本計画	スポーツ基本法の理念を具体化し、今後の日本のスポーツ施策の具体的な方向性を示した国の計画。
	スポーツ基本法	スポーツ振興法を50年ぶりに全面改正し、平成23年8月に制定された日本の新たなスポーツ推進に関する法律。
	スポーツ少年団	地域においてスポーツ活動を中心に組織的な活動をしている少年のスポーツクラブ。
	スポーツ振興くじ助成事業	toto(スポーツ振興くじ)の販売により得られる資金をもとに、地方公共団体及びスポーツ団体が行う、スポーツの振興を目的とする事業に対する助成事業。
	スポーツ振興法	昭和36年6月に制定された、日本のスポーツ振興に関する法律。
	スポーツ推進委員(安来市スポーツ推進委員連絡協議会)	当該市町村のスポーツ推進のために、スポーツの推進事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導、助言を行う非常勤職員。安来市スポーツ推進委員連絡協議会は、安来市のスポーツ推進委員38名で組織する任意団体で、委員相互の連携を図り、スポーツに関する各種事業の企画、実施等を行う。
	スポレク広場	県民にスポーツ・レクリエーション活動を広く体験する目的で開催される島根県スポーツ・レクリエーション祭の種目の一つで、さまざまなニュースポーツ等を体験できる。
せ	生活習慣病	生活習慣が要因となって発生する諸疾病を指すための呼称、概念。
ぜ	全国高等学校総合体育大会	全国高等学校体育連盟の主催で、毎年8月を中心に開催される全日制高校生のスポーツ総合競技大会。 通称 インターハイ。
	全国体力・運動能力等調査	小学生、中学生を対象に各小中学校において実施されるスポーツテスト。
そ	総合型地域スポーツクラブ	子どもから高齢者まで幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブ。
た	体育館等バリアフリー緊急整備事業	公立体育館において、障がい者がスポーツに取り組めるよう、スロープや多目的トイレ等の整備を行う事業。
	体力向上推進計画	島根県内の小中学校において、学校単位に小学生、中学生の体力、運動能力の実態を把握し、体力向上に取り組むために策定している計画。



ち	地域と連携した子どもの体力向上支援事業	未就学児童及び小学生児童を対象に、地域の団体等において、学校教育活動外の時間を活用し、運動やスポーツ体験等により体力向上を図る事業。(島根県事業)
	地域福祉計画	安来市における地域福祉を総合的に推進するための計画。
	地区交流センター	安来市において、より良い地域づくりを推進するため、市民が主体的かつ総合的に取り組む活動拠点施設として、市内 24 箇所を設置されている。
	直営(直営管理)	市が公共施設の管理、運営を直接行っている施設。
に	ニュースポーツ	技術やルールが比較的簡単で、だれでも、どこでも、いつでも容易に楽しめることを目的として、新しく考案や紹介がされたスポーツのこと。
は	発達段階	子どもが成長するにつれてたどっていく身体的、精神的な段階。
	春の高校バレー	毎年1月に開催される全日本バレーボール高等学校選手権大会の愛称。島根県予選大会は毎年11月に開催。
び	bjリーグ	日本バスケットボールリーグの略。島根県のプロバスケットボールチーム「島根ササノオマジック」が参戦するリーグ。
ほ	放課後児童クラブ	主に日中、保護者が家庭にいない小学生児童に対して、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全な育成を図る保育事業の名称。
や	安来市健康推進会議	安来市民の健康づくりを目的とし、安来市内の関係機関・団体で構成した組織。
	安来市総合計画	安来市のすべての計画の基本となる、行政運営の総合的な指針となる計画。すべてのひとが「元気」で「いきいき」と「快適」に暮らせる安来市の実現を基本構想としている。
	安来市体育協会	市民及び市内の事業所勤務者等が心身の健全な発達と明るい地域社会を形成するため、スポーツ並びにレクリエーションの普及振興を目的に組織された団体。 競技部、地域振興部(地区体育協会)、少年育成部(スポーツ少年団)、指導者部(市スポーツ推進委員)の四つの部からなる。
ら	ライフステージ	人の一生を人生の節目ごとに段階に分けること。
れ	レク式体力チェック	レクリエーション協会が考案した体力測定の方法。6種目の測定種目からなり、楽しく、簡単に自身の体力を把握する事を目的としている。
	レクリエーション協会	レクリエーションの総合的な普及振興及びレクリエーションに関する活動を行う他の団体に対する支援を行い、市民の心身の健康づくりと明るく豊かな生活に役立つことを目的とする活動を行う団体。
	レクリエーションスポーツ	勝敗にこだわらず、いつでも、どこでも、誰でもできるスポーツの総称。

## 資料3

スポーツ推進計画策定の経過

開催日等	会議名等	概要
平成20年10月7日	スポーツ振興基本計画について(諮問)	
平成20年10月10日	第1回スポーツ振興審議会	・スポーツ振興計画の諮問について ・安来市社会体育施設等の使用料について
平成21年1月22日	第2回スポーツ振興審議会	・健康・スポーツに関する意識調査の実施について ・体育施設使用料について
平成21年3月25日	第3回スポーツ振興審議会	・市民アンケート調査の回収状況について ・体育施設使用料の改正について
平成21年10月27日	第4回スポーツ振興審議会	・体育施設使用料の改正について
平成21年11月9日	社会体育施設等の使用料の改定について(答申)	
平成21年11月25日	社会体育施設等の使用料の改定(案)について議会報告	
平成22年3月26日	第5回スポーツ振興審議会	・スポーツに関するアンケート結果について ・体育施設使用料の改正について
平成22年8月25日	第6回スポーツ振興審議会	・スポーツ振興計画策定に関する調査報告について ・スポーツ振興計画具体的施策(案)について
平成23年3月25日	第7回スポーツ振興審議会	・スポーツ振興計画重点目標(案)、基本施策(案)、 具体的施策(案)、具体的取り組み(案)について
平成25年3月21日	第8回スポーツ推進審議会	・スポーツ推進計画具体的施策(案)、具体的取り組み(案)、 数値目標(案)について
平成26年1月16日	第9回スポーツ推進審議会	・スポーツ推進計画(案)について ・消費税改定に伴う体育施設使用料の改正(案)について
平成26年2月10日	第10回スポーツ推進審議会	・スポーツ推進計画(案)について
平成26年2月17日	スポーツ推進計画について(答申)	
平成26年6月30日 ～ 平成26年7月18日	パブリックコメント	
平成26年9月	スポーツ推進計画を公表	